

上越地域退職者連合

たっしやで上越の輪

会報第11号

★発行 2019年5月31日

★発行人 会長 小山正明

★事務局 上越市五智3丁目3-10
(連合新潟上越地域協議会内)

☎025-544-0550

介護サービスは大丈夫か

介護サービスは人手。介護職員不足。人で不足

厚生労働省は、2020年度に20万人、2025年度に38万人の介護職員が不足すると2015年に推計しています。介護職員の処遇を改善し、離職率を下げる対策などを講じています。しかし人手不足と言われる今日、本当に介護サービスは維持されるのでしょうか。

今までは、「税と社会保障の一体改革」と云って介護費用の増嵩に焦点がありました。介護は医療と異なり、もともと家族が担ってきました。介護サービスの低減⇒介護離職⇒人手不足と云う、負のスパイラルは避けたいものです。

地域包括システムの構築

- 【目標】 重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい人生の最後まで続けることができる社会の実現。
- 【方策】 医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制の構築
- 【主体】 保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基ずき地域の特性に応じて作り上げていく。

政府は解決策として「地域包括システムの構築」を提唱しています。【目標】については誰にも異存はないものと思います。【方策】については介護職員を補完する「ボランティア」の活用など住民の助け合いによる人手の確保を意味するようです。村山市長自身は市議会の一般質問で次のように答弁しています。

当市においては、平成27年度から取り組みを開始いたしました新総合事業で、資格を有する職員にはより専門的な業務について頂く一方で、資格を持たない人でも体系的なカリキュラムに基づく研修を受講した上で、生活支援や通いの場等のサービス提供者となっていただくことのできる仕組みを整備する等多様な介護人材の確保を図ってきている。

今までの社会保障は、税金や保険料と言う金銭的助け合いでした。負担能力に応じた、法律に基づく強制的助け合い、が行われてきました。しかし人手による助け合いは介護サービスの一部を代行できても制度的に介護サービス提供の一翼を担うことは可能なのでしょうか

【主体】全国の市町村で「新総合事業」の取り組みが行われています。超高齢化社会は人類にとって経験のないことです。各市町村のいろいろな工夫に期待してみましよう。

体を動かし、人と交わり、会話し

介護予防を心がけよう

先行きは不透明ですが、まずは皆で介護予防に努めましよう。体を動かし、人と交わり、会話して、何が介護予防に役立つか学びましよう。社会への関心を持ち続けましよう。楽しく継続できる活動を探しましよう。

県議会議員選挙戦を振り返って

第19回統一地方選の県議会選挙が3月29告示、4月7日投票で行われ、全県の投票率は49・77%で過去最低だった前回とほぼ同じでしたが、定数53名に対し見附市、南魚沼市、南魚等で自民党を破り連合新潟推薦者は前回は上回る15人が当選し自民党は改選前33議席から5議席減りましたが過半数を取りました。

上越市選挙区は、定数5名に対して連合新潟推薦の小山よしもと候補（社民）秋山みえこ候補（無所属）の両氏と自民党2人無所属（自民推薦）1人、共産党1人の少数激戦でしたが投票率は48・87%でした。小山候補は6期の経験を持つベテランで秋山候補は前回上越市で初めての女性県議で初当選して2期目の挑戦でした。前回2015年の選挙では、秋山さんは14153（2位当選）でしたが、今回は前回より2645票減で5位でしたし、小山さんは109票減の12293（3位当選）でした。2人共大変厳しい闘いでしたが勝利することができました事に対して上越地域退職者連合の皆様から大きなご支援を頂きましたことに感謝申し上げます。

しかし県全体は自民党の過半数を許してしまいました。来る7月の参議院選挙は正念場です。「忖度政治」を止めさせるためにも私たちは団結して頑張りましょう。小山、秋山県議の益々のご活躍を期待し、私達上越退職者連合も引き続き2人の応援をしていきたいと思います。

上越退職者連合 会長 小山正明

暮らしと平和を守る先頭に

新潟県議会議員 小山芳元

この度の県議選は大変厳しい闘いでしたが、7期目の当選を果たすことができました。

連合退職者連合の皆様には大きなご支援、お力添えをいただきました事に心から感謝と御礼を申し上げます。

選挙戦で訴えた、6期24年間の培った豊かな経験と誰にも負けない熱意と行動力で組織、党派の垣根を越えて上越発展のリーダー役として全力投球する決意であります。

県全体の県議選結果は自民党が若干数を減らしたものの大きな変動はありませんでした。したがって従来の数の力による利益誘導型の政治が、繰り返されることとなります。このため引き続き「未来にいがた」の代表として自民党と対峙し、多様な県民の声が反映される県政改革に向けて先頭に立って頑張ります。

原発、憲法、消費税、農業、福祉等私たちの、子や孫の将来に暗雲を漂わせる政治が続いています。とりわけ向こう4年間に柏崎・刈羽原発の再稼働が大きな焦点になる可能性が濃厚です。子供達の未来に負の財産を先送りしない為にも、何としてでも原発の再稼働を阻止し原発ゼロの社会の実現に向け先頭に立ち積極的に行動します。

安倍の「一強政治」に歯止めをかけるには、「市民と野党の結集」が不可欠です。私はこれまで参院選における森ゆう子さん、の勝利、米山県政の誕生と「市民と野党」結集の要として、新潟から政治を変える一翼を担ってきました。この先も「市民と野党の結集」をより深化させ夏の参院選の勝利と、その先の衆院選の「梅谷 守さん」の勝利を勝ち取るためにも引き続き新潟から政治を変えるリーダーとして全力投球します。

変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます、県議選の御礼の言葉とさせていただきます。

大変ありがとうございました。

夏の参議院選挙は連合推薦候補の「打越さくら」を応援しよう

新たな気持ちで2期目スタート

新潟県議会議員 秋山三枝子

大変厳しい選挙でしたが皆様のお力添えを頂き、2期目のスタートができました事に感謝申し上げます。当選直後所属する会派の選択が求められます。初当選の時は何の迷いもなく「民主党」でしたが、今回は「リベラルにいがた」という新しい会派の立ち上げに参加しこれまで所属していた「未来にいがた」から移ることを決意しました。

“新しい場で可能性に挑戦してみたい”という私の突然の発意を戸惑いつつ受け入れた頂いた皆様にはこれからの活動で恩返しできるよう頑張ってみます。

「リベラルにいがた」は無所属議員5人の小さな会派ですがリベラルの意味を「自由と改革」ととらえ、自由で民主的な県民主体の県政確立を基本理念に据えました。活動指針には「県財政健全化に向けた議論の推進」「人口減少に対する実効性のある施策推進」、「環境保全と経済成長の両立に向けた施策推進」「原発ゼロを見据えた再生可能エネルギー関係施設の推進」「県民にわかり易い議会透明化に向けた議論の推進」を掲げました。常に県民目線の会派でありたいと願っております。

会派も私自身もまだまだ勉強が必要です。研鑽を重ね皆様の期待の応えられるよう日々精進に勤めてまいります。これからも叱咤激励をよろしくお願いいたします。

第90回上越地区メーデー開催

第90回連合上越地区メーデーは、連休初日の4月27日、10時～上越文化会館において1000名の組合員、OB、来賓（上越退職者連合も招待され）の参加で開催されました。前日の天候の関係もあり、デモ行進は中止となりましたが、多くの組合員が参集し、各産別、各単組の組合旗、のぼり旗が立てられ熱気ある雰囲気の中で進められ、労働者の権利と団結を守る決意が固められました。



あいさつする羽深会長



参加された組合員

「メーデー宣言」より抜粋

世界では貧困と格差が拡大し、民主主義を脅かす言動が頻発し、不安が高まっている。国内外の関係団体と連携しすべての仲間、全ての人々が平和・人権を守り、笑顔あふれる未来に向けて全力を上げて取り組むことをここに宣言する。

19・4・27 第90回連合上越地区メーデー

夏の参院選は連合推薦候補の「打越さくら」の当選に向けて頑張ろう

上越地域退職者連合・第6回学習会

介護予防 講義と実技

10月25日（金） 14時～16時 市民プラザ第1会議室&グラスハウス